

青年教職員のつどい開催

9月3日、青年教職員を対象にホテルルイズで開催し、約50人の参加がありました。学習会ではジョブカフェいわての高橋牧子チーフコーディネーターを講師に、「ビジネスマナーセミナー」を行いました。参加者からは「ふだん使えることを教えていただき大変参考になった」「学校現場で使う場面を想定しての講義で参考になった」等の意見をいただきました。

その後、会場をROUND1に移しチーム対抗のボウリング大会を行いました。また、夕食交流会では、ボウリング大会の表彰、ジャンケン大会を開催し楽しい時間を過ごしました。



高教組原水禁ナガサキ平和の旅

8月6日～9日、高教組第3回原水禁ナガサキ平和の旅を行い4人が参加しました。原水禁世界大会への参加や長崎原爆病院へ見舞金を持参し訪問、高校生1万人署名実行委員会との交流等を行っています。

参加者感想抜粋

原水禁の閉会総会の主催者あいさつの中で川野浩一大会実行委員長が、「平和は与えられるものではない」と述べていました。

今の時代、まさにそれを実感させられます。現状維持の平和ではなく（維持されているとも言いがたいと感じますが）、新しい世代と共に平和を作り上げていくためにも、多くの組合員の方に、この旅に参加していただきたいと思います。（沼宮内分会 山下佳子）



被爆体験者の下平作江さんから、「私たちはお骨を踏みつけて生きている」と衝撃的な言葉から体験談が始まりました。生きる事への罪悪感や生きて次世代に伝えなければいけない使命感をもって一日一日を大切に生きていることや、「平和」という言葉の重みを感じました。私は教員として、この言葉の意味を生徒にきちんと教える義務があります。（杜陵定時制分会 佐野健太郎）